

表紙データ制作時のご注意（Adobe Illustrator での作成を前提としています）

カラーモード：CMYK
データはRGBではなくCMYKで作成してください。
RGBの場合、印刷結果が意図しないものになる場合があります。

画像解像度：300ppi
配置する画像の解像度は原寸で300ppi以上で作成してください。
配置した画像を拡大縮小した場合、解像度も変わりますのでご注意ください。
また、「効果」メニューの「ドキュメントのラスタライズ効果設定…」での解像度も「高解像度(300ppi)」にしてください。

入稿データ形式：Adobe Illustrator
●バージョンはCS6～CC2024で保存してください。
●文字がある場合は文字のアウトライン化を確実に行ってください。行われていない場合はエラーが出て進行不能になります。
●他のアプリケーションで作成して配置した箇所がある場合は、必ず元データも一緒に入稿してください。その際、元データもイラストレーターデータと同一階層（同じフォルダ）に格納してください。他の階層(フォルダ)に入れるとリンク切れを起こし、正常に開けなくなる場合があります。

確認用PDFファイル
●Illustratorファイルが問題ないかを簡易的に確認できるようにするため、低解像度のPDFファイルを作成して、それも一緒に入稿してください。
●PDFに保存するときのプリセットを「最小ファイルサイズ」にして保存してください。

- 表紙は本文を守るため、本文より厚く丈夫な紙を使用するため作り方が特殊です。必ずこの説明とフォーマットに従って作成してください。
- 表紙は本文より一回り大きく作ります。
 - ・本文 200mm の場合：表紙 206mm
 - ・本文 148mm の場合：表紙 154mm更に、芯になる厚めの紙を、表紙を印刷した紙で包むように貼り付けて作られます。

黒のライン

表紙の仕上がりライン。
このラインが完成時の仕上がりサイズになりますので、見せたいものはこの中におさまるようにしてください。

水色のベタ

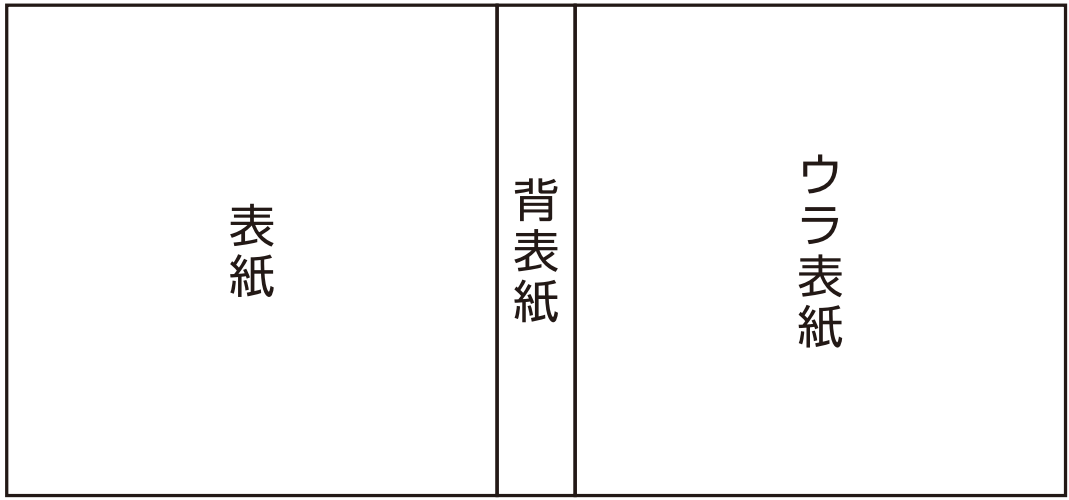
塗り足し範囲。
表紙の端まで色やデザインがあるときは、この範囲まで色やデザインを広げてください。
仕上がりラインピッタリにイラストを作成すると、印刷されていない紙の白い部分（色が乗っていない紙の地）が出てしまい、良くない仕上がりになってしまいます。

マゼンダのライン

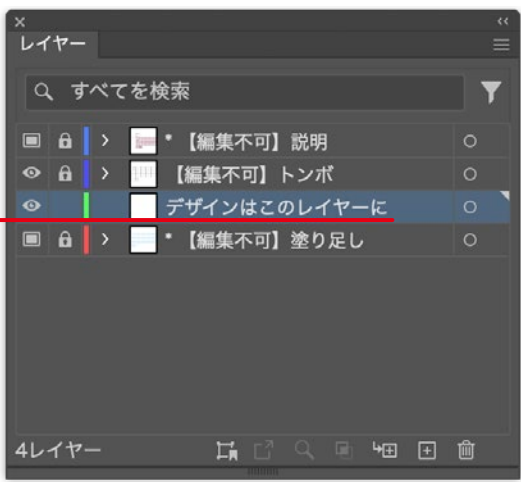
見切れては困る重要な文字や絵柄はこの内側に収めてください。
こちらは、内側にズレが生じた場合に切れてしまうリスクを低減できます。（切れてもいいものは、線に重なっていても問題ありません。）

ピンクのベタ

ISBNコード・バーコード挿入範囲・イチョウ
ISBNコード・バーコードと、イチョウ（製本時に開きやすくするための溝）の場所です。重要なデザインは入らないようにしてください。
ISBNやバーコードで隠れたり、イチョウで歪んでも構わないデザインでしたらこの範囲に入っていてもOKです。



- 表紙は左の図のように広げた状態で作成してください。
- デザインは、必ず「デザインはこのレイヤーに」という名前のレイヤーに配置してください。
 - ※他のレイヤーは編集しないでください。編集された場合、仕上がりに影響が出る場合があります、その際の責任は負いかねます。



その他不明点のご遠慮なく担当までご質問・ご相談ください。

株式会社 三恵社

絵本 表紙タテ書き用 200×200m

